

4月8日(土)、晴天のもと、2023年度入学式を挙行了しました。来校制限をなくし、多くの保護者のみなさまにご来校いただけたことは何よりでした。また、吹奏楽部の演奏も復活し、生演奏が式を盛り上げてくれました。

校長式辞は、以下の通りです。

若葉が萌え、花が咲き、鳥たちが歌い舞う。自然界の生命が輝く季節の到来となりました。今日のこの良き日、入学式を挙げてきましたことは、この上ない喜びでございます。ただいま中学校53名、高等学校234名の入学を許可いたしました。新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

(写真は、入学式での一コマ)



ご縁を大切にしましょう

保護者のみなさま、ご子女のご入学おめでとうございます。新しい制服を身にまとった我が子の成長の早さを感じながら、これから始まる新たな学校生活に向けてエールを送られていることと思います。

ご来賓のみなさま、本日はご多用の中をご臨席賜りまして誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

新入生のみなさんは本校に入学するまでの3年余り、コロナウイルスと戦ってきたと言っても過言ではありません。行動が制限され、我慢のときを過ごしました。よく頑張りました。みなさんのこれまでの努力に拍手を送ります。今日からすべてが解放されるわけではありませんが、日々の学習や行事、クラブ活動や友だちづくりなど、これからの学校生活を前向きに送って欲しいと願っています。

みなさんとうとうこの場所で、本校で一期一会のご縁となりました。これは偶然のことでしょうか。いえ、この出会いを大切に下さい、あなたは協創で学んだよという必然のご縁なのです。こうして導かれた自分の道を歩むことで必ず希望の灯が見えます。そして、今日からの広島修道大学ひろしま協創での学びによって、本校の選択が正しかったということが、偶然の出会いが必然のご縁になることが、明らかになります。

さて、本校の教育目標は、「グローバル・イノベーション・リーダーの育成」です。すなわち、「地球的な視野で考えて、地域社会と協創する人を育成する」ということです。「協創」とは、多様な人と協働して様々な価値を創造するということです。この教育目標の達成のために、私たちは「探究力」を身につけて欲しいと願っています。それは、「課題解決する力、協創する力、社会参画する力、自己実現する力」の4つの力を指します。本

校の様々な教育活動の中で、積極的に自分を育てていきましょう。

そして、本校の建学の精神(校訓)は、「報恩感謝・実践」です。学校創立から不変の想いです。「天地万物の恵みに生かされていることに感謝し、その気持ちを日常生活で生かしましょう」という意味です。私はこの建学の精神を「利他の心」とも表します。まずは人への感謝や気遣いを忘れぬこと、それは自分が大切にされることに繋がるからです。他者への謙虚な気持ちや思いやりの持てない人は、他者からの信頼を得られることはないでしょう。「利他の心」は自分を磨く心でもあるのです。

私たちは今、将来を予測することが困難で、これまでの常識を覆すような社会変化が生ずる時代に差し掛かり、生活様式や様々な価値観を一変させてしまうかも知れない状況に直面していると言われています。この状況下、どのような人材が求められるのでしょうか。

私は、グローバル・イノベーション・リーダー、地球的な視野で考えて、地域社会と協創する人として先ほどの「4つの力」を兼ね備え、日々の生活の中で「報恩感謝・実践」、「利他の心」を具体的な行動に移せる人であると確信します。本校の3年間あるいは6年間の学びの中で育てていきましょう。さらに、その後のステージでステップアップし、これからの未来を創る人となっていきましょう。

終わりにあたり、保護者のみなさま、ご子女の成長は家庭教育と学校教育の両輪があってなされます。ご子女の成長を支えるため、ともに手を携えることができれば幸いです。

我々教職員は、「凡事徹底、進取果敢。」を肝に銘じ、ご子女の成長のために万全を尽くし、支援してまいります。以上を誓い、式辞といたします。